

## 会議結果報告書

1 会議の名称

平成29年度第1回光市立図書館協議会会議

2 開催日時

平成29年7月14日（金） 13時30分～15時

3 開催場所

光市立図書館2階視聴覚室

4 出席者

8名 光市立図書館協議会委員8名

5 公開・非公開の別

公開 傍聴人 1名

6 会議の議事録（要旨）

（1）任命書交付（2名）

（2）会長挨拶

（3）館長挨拶

（4）出席委員及び事務局の紹介

（5）会議成立要件の確認（委員8名中8名出席につき成立）

（6）議事

ア 平成28年度事業の報告について

（事務局）

平成28年度光市立図書館運営業務報告について概要を説明。

（委員）

予算の額は、以前と比べてどうなっていますか。

（事務局）

資料費については、ほぼ同額となっている。

（委員）

予算が増えていないが、予算要求はどうなっていますか。

（事務局）

図書館として、図書資料の充実、施設の維持管理を含め予算要求をしているが、

必要な予算の獲得に向けて、引き続き努力していきたい。

(委員)

予算が増えないということは、市の財政が苦しいということはわかるが、もう少し文化事業にも予算を回してほしい。

(委員)

資料の内、雑誌は77種類だが、せめて100種類ぐらいになるように、できれば200種類ぐらいあればいいかと思う。雑誌を増やすと利用者数も増えるので、検討してもらいたい。

(事務局)

予算や、スペース等を踏まえて、検討していきたい。

#### イ 平成29年度事業の推進について

(事務局)

平成29年度光市立図書館の取組について説明。

(委員)

学校との連携も大切ですが、一般市民の利用者を増やすためには、雑誌の種類を増やすことも大切です。

今の子どもはネットやスマホがあるので、本を読まなくなっているが、先人達の書いた書物を読むことも大切だと思う。

(委員)

小学校でも図書部会を開く予定で、学校図書館と図書館が連携して、読書活動を進めていけたらと思っている。

(事務局)

今年度、小中学校との連携マニュアルを作成する予定。資料の活用や職員間の交流も含めて、学校との連携を深めていきたい。

(委員)

連携マニュアルは、いつ頃完成しますか。

(事務局)

今年度中に作成し、新学期から活用したいと考えている。

(委員)

ボランティアも、活動を通じて、子ども達の読書の推進に繋がっていただけている。

(委員)

ボランティアの方が、一生懸命お手伝いをされて、いい活動をされているので感心している。

ウ 各委員からの提案事項等について

1 子どもの読書活動推進計画の推進体制について

(委員)

子どもの読書活動推進庁内委員会を年2回開催されているが、できれば学校関係や幼保関係を入れて、広がりを持った推進体制を敷いてもらいたい。

(事務局)

庁内委員会は、図書館、学校教育課、文化・社会教育課、子ども家庭課、健康増進課、地域づくり推進課の職員で構成されている。

(委員)

図書館が、多方面の方から意見を伺う機会があったほうがいい。

(委員)

子どもも大人も本を読まなくなっているが、子どもの読書活動推進計画に沿って図書館の職員、委員も活動していきたいと思う。

2 高齢者サービスの実状について

(委員)

現在は超高齢化社会に入り、高齢者率が国で26%、山口県でも30%を超えており、高齢者の図書館の利用も増えている。

貸出点数(年齢別)の表を見ると、児童の貸出点数は減少している。40代、50代は主婦層が多い。60才を超えて高齢者の利用が増えている。図書館に、比較的元気な高齢者が来られていることを示している。

貸出点数のところは、男女別がわかったほうがいい。30代から59才は女性のほうが多く、60才を超えると男性が増える傾向がある。そういったことも男女別にするとよくわかる。

超高齢化社会を迎え、高齢者向けの雑誌・図書資料・大活字本・拡大読書器や、サービス面では宅配など、いろいろなサービスが必要となってくる。

認知症の高齢者に、認知症予防の心理療法として回想法がある。古い写真、器具、昔読んだ絵本等、高齢者サービスのキットとして提供していくこともその1つです。

職員に対しても、高齢者サービスの研修をしていく必要がある。

(事務局)

本図書館では、高齢者向けの蔵書の確保、大活字本、拡大鏡、老眼鏡等の設置、また、カウンターでの対応においても、配慮を行っている。

高齢者へのサービスについては、ご意見を参考にしていきたい。

3 郷土資料のデジタル化について

(委員)

今年度から、県立図書館も維新関係資料をデジタル化し、ホームページ上で見られるようになった。貴重な資料については、実際に手にとると劣化していくので、そういった資料については、デジタル化を考えていただきたい。

(事務局)

本図書館としても、古文書などの郷土資料のデジタル化は必要と認識しており、市関係各課とも連携し、調査・研究していきたい。

#### 4 大和分室の新しい名称について

(委員)

分室では、図書館というイメージが湧かないので、大和図書館という名称がいい。最低でも、分館にしてもらいたい。

(事務局)

名称については、委員の意見を踏まえて、引き続き関係部局と協議していきたい。

#### 5 大和分室（複合施設）建設の進捗状況と今後の対応について

(事務局)

平成31年4月オープンに向けて、現在造成工事を行っており、図書館も移転に向けて準備を進めていく予定。

(委員)

高齢者サービスの観点からも、移動図書館や市営バスの活用を検討していただきたい。

#### 6 図書館まつりについて

(委員)

今年度の図書館まつりは、11月12日（日）に開催する予定。子ども達が図書館に来るきっかけになるような図書館まつりにしたい。

(委員)

図書館まつりを通して、絵本を借りる人も増えているし、子ども達が本を借りたという声をよく聞く。図書館がどこにあるのか知らないという子どもがいるので、そういった意味でも図書館まつりはいいきっかけになっている。

(委員)

大島図書館には月性のコーナーがあるが、大和分室にも独自のものがありますか。

(事務局)

伊藤博文の出生地として、伊藤博文関係の本は揃えており、地元の人が伊藤博文について書いた本なども、大和分室に置いている。また、大和地区に伊藤公資料館があり、資料や古文書関係はそちらに置いてある。

(委員)

高齢者サービスの件で、図書館が高齢者の健康寿命にも役立っていることを、も

っとPRしたらいいと思う。

(事務局)

ボランティアの方が、高齢者施設に読み聞かせに行く時には、選書の手伝いをしている。また、図書館まつりでは、光市認知症を支える会の方がカフェを開いている。

(7) その他

(事務局)

第2回光市立図書館協議会は、2月を予定している。

7 問合せ先 光市立図書館 電話番号 (0833) 72-1440